

CO2排出量を知ろう

- まずは、**自社の事業活動から排出されるCO2の現状把握**をしよう!
- 自社でのエネルギー消費の中で電気、ガス、石油(灯油、軽油、重油など)などのうち、何が**多いのか**を把握し、削減の**攻め所**を見つけましょう。



電気



ガス

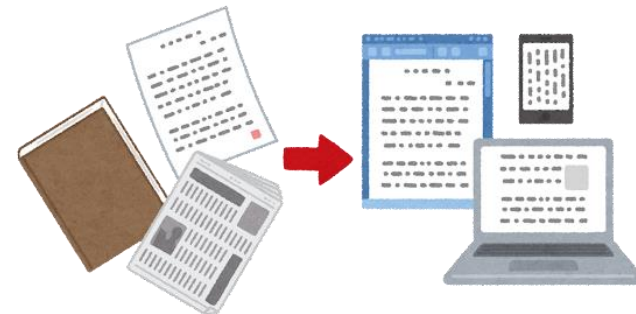


石油

ビジネス

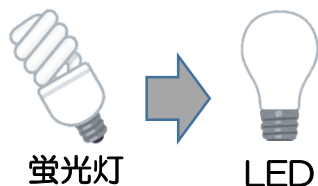
紙の使用を削減しよう

- 紙は木材を活用した資源です。紙を37g(A4用紙で約9枚分相当)を廃棄した場合の、CO2排出量は2.9gと言われており、紙の使用量削減もCO2排出量削減に貢献できます。
- ペーパーレス化**を進め、CO2排出量とコスト削減に取り組みましょう。



節電・節水に取り組もう

- 電気はエネルギー源別のCO2排出量で全体の**約20%**を占めています。
- 電気を使用している箇所の**運用の最適化**や、**機器の更新**(蛍光灯→LED化など)で**消費電力の削減**に取り組みましょう。
- 上下水道の使用**にも、浄水、供給、下水処理などに**エネルギーを消費**しており、**CO2排出**につながっています。
- 業務工程の水量・時間の見直しや、工夫して使用し、節水に取り組みましょう。



蛍光灯

LED



節水

在宅勤務やワーケーションに取り組もう

- 在宅勤務は、**家族と過ごす時間**、**自己啓発**などの時間増加、家族が**安心して子どもを育てられる環境**の実現といった効果が見込めます。
- 在宅勤務に積極的に取り組むことで、**ワーク・ライフ・バランスの充実**にも!
- 休暇を楽しみながらテレワーク**で働くことは社員のメンタルヘルスのサポートや、観光業などの後押しにも繋がります!

